

No 21

1973.
9. 1

岐阜の博物館

編集兼発行
岐阜市岩戸花月町
2の1
濃飛甲冑研究所内
岐阜県博物館協会
責任者 吉田幸平
振替 名古屋 28716

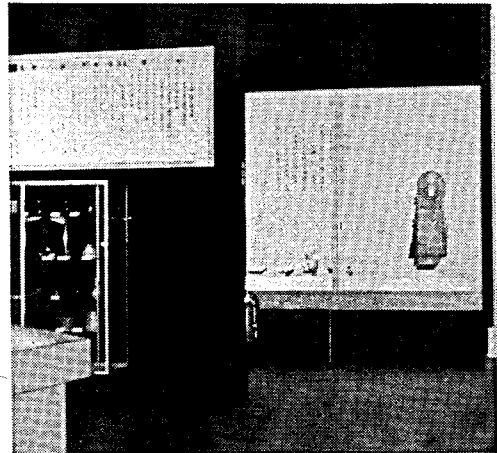


※写真上、歴史館正面、この右側が公民館。
(下) 落ち着いた雰囲気の展示室入口、家族連れで賑わっていた。(右) 自慢の「銅鐸」も見えている展示室内のようす。

館・園紹介 No 19

可児郷土歴史館

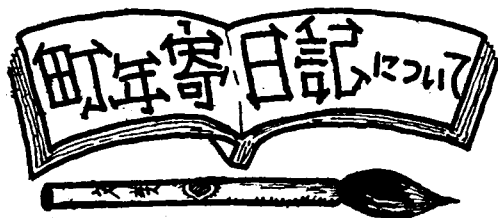
〒509-02 可児郡可児町久々利
TEL (05746) 4-1120



去る8月5日、文化長官安藤健二氏を迎えて竣工式が行なわれ、9日から一般に開館された可児郷土歴史館を訪れてみた。10月30日までは、開館記念として、「美濃古陶ふるさと展 — 源流をさぐる」特別展実施中で、小雨降る日曜日だったが、家族連れの見学者が目立ち賑わっていた。ふるさとの自然風土の中に、人間の歴史のうたを秘めて華咲いた美濃焼の数々、その古きものから現代作家の作品にいたるまで、落ち着いた雰囲気の展示場で見つめていると、日本民族の美意識と生活感情の見事な融合振りが肌に伝わり、改めて、日本独特の美意識と価値観の偉大さに心打られたのでした。

玄関前の石の館名標は、人間国宝荒川豊蔵氏の書をそのままほったもので、玄関左側が歴史館、右側二階建物は久々利公民館で、会議室・体育館兼大会議室・和室等がある。この日は、ちょうど「岐阜県考古学会の研究会」がもたれていたが、歴史館と公民館とが表裏一体となり、地域住民の文化的娯楽施設として活用されることを目差したあり方はすばらしい。急テンポで変貌する郷土、散逸する文化財、何とか郷土の文化財は郷土に保存をの気運があったところへ、約240年前に久々利で発掘され、名古屋の総見寺に保管されていた「銅鐸」が、快よく発掘の地可児町へ移管されたのを機会に、1億3千万円ほどの工事費をかけて完成したもの。(2頁に続く)

慶長年間から明治まで、約260年あった千村家の屋敷跡に建設され、当時の石垣の一部も残されている歴史的にも由緒ある場所であるだけに、特別展後は、郷土可児町の歴史資料館・陳列場だけに終わることなく、資料を収集保管されることはもとより、学芸員等の人材をこそ豊富に確保され、社会教育活動、学校教育への



徳川時代の高山町は一之町村・二之町村・三之町村の三地区に分れ、各地区毎に一軒の町年寄があった。町年寄は世襲制で、三人の町年寄の合議により半自治的に町政が運営されていた。

町政を運営する役所を町会所と云い、平時は月番町年寄が一人出勤して町政を司っていた。このように三人の町年寄は町政を支配するのみならず、天領を支配する飛騨郡代の諮問機関として、政治の裏に於て抜き難い実力を持っていた。町年寄はこんなわけで式日には必ず御祝に陣屋に参上したし、月の朔日と十五日には郡代の諮問に答える為に陣屋の御用郡屋に出勤するのが例となっていた。勿論火急の場合は御召によりすぐ陣屋へ出る事になっていた。

飛騨郡代が政治をするには高山の有力町人の財的バックがなくては動まらない。如何に上手に町人の財力を使うかがその郡代の腕であり、その郡代に政治資金を注ぎ込んで如何に巧妙に特権を得るかが町人の智力であった。

このような政治の裏や世の中の流れを毎日毎日書き綴ったものが高山の町年寄日記(町会所日記)である。この日記は文政の初から明治五年迄五十餘年間にそろうて居り幕末及び維新の高山を語る生きた資料として大変貴重なものである。この資料を裏付けするように願書留と云う書類があってその時その時の民間から陣屋へ提出された願書を町会所で奥書して写しとって置

援助、文化財の保護センター、そして郷土学習の情報センターとして、一部の歴史愛好家のみならず、社会のひとりひとりに働きかける機関へと発展されることを祈りたい。入館料・一般200円(団体160円) 小中学生50円(団体30円) 開館時間午前9時~午後5時(12~3月は午後4時半) 写真・文、小野木学芸員 二
いた綴文書がある。これ等の資料を通覧すると、飢饉の年には家出逃亡者が目立って多く、粃や食糧の貸借訴訟等の記事、お助け小屋や施粥の記録、酒造三分の一に減石の令等が現れる。

政治資金を出した有力町人には初めは苗字帯刀等でごまかすが終には檜材を格安に払下げたり、特別の商売の独占を許したりしている背後関係がよく分る。維新前後は極度に人心が動揺する。放火がよく行われ、流言飛語が乱れとぶ。

幕末から貨幣制度が急速に崩れ初める。天保十二年に贖金を造った罪により際に処せられ一味は斬罪に処せられたものを最後にこの種の犯罪は増加しているのに処罰はうやむやになっている事が分る。今の銀行にあたる御用掛屋は五両十兩の封金をやめてしまう。餘りに贖金が多くて一包五兩等と云う包が通用しなくなったのである。こんなせまい高山地方に於てすら贖札書き犯人が現れ、贖札密造団が結成されそれが印刷された事が分る。こんな有様で日本中悪貨で充満?した為、政府は明治三年四月廿九日太政官布告を以て「贖金贖札犯人は発覚未発覚を問はず今日迄の分は全部無罪とする」と云う破天荒の政令を出している。この布告は五月廿三日の高山町年寄日記に出ていて、この日偽造犯人四人が没収品の返却を受けて堂々?出獄している事が分る。私はこんな馬鹿な話があるものかと調べてみたがこれは厳然たる日本の政治の一駒である事が分った。以上のようにこんな小天地の高山の日記にもすばらしい歴史が多く含まれている。日本の大激変期五十餘年の日記には今後私達が学ぶべき多くのものを含んでいる。この史料をどのように分類し、活字にして世の活用出来る日の来らん事を願いつつこの稿を閉じることとする。 高山市立郷土館

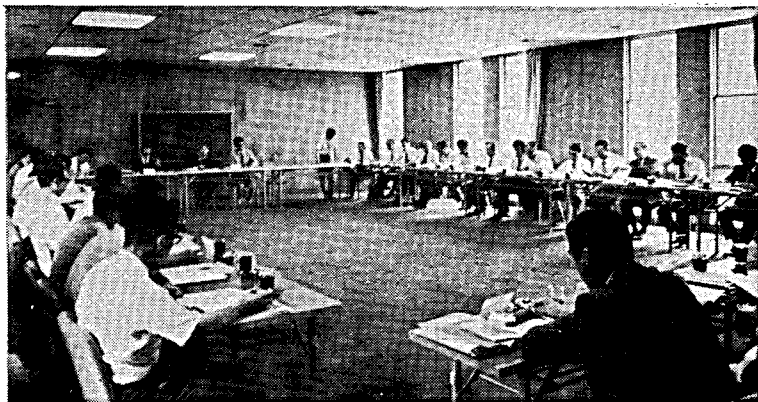
昭和48年度

東海地区

博物館

連絡協議会

総会報告



喜多内つた瑞 宮崎様代

機関紙第20号にて紹介又個別に御案内申上げました通り7月12・13の両日、愛知県蒲郡市三谷町、あゆち荘に於て開催されました。

今年は愛知県博物館協会の御骨折りにて盛大な総会でした。参加人員は45名、岐博協からは9名の方々が参加され、資料交換・情報提供等久々に旧知を暖めるよき会合でした。

総会に先立ち理事会が開かれ、収支決算・役員改選・事業計画等が討議され、分担金は本年度岐博協から1万円也を拠出、直協議会事務局より岐博協選出役員増員の件が提出され承認を受け依て

理事 岐阜城郷土館 郷 浩氏

理事 飛驒民俗村 長倉三郎氏

理事 濃飛甲冑研究所 吉田幸平氏

以上3名の方々を御推薦申上げました。

総会では日博協事務局長・星野直隆氏の特別

講演が有り、人類への奉仕・人間社会への奉仕それに付いての使命観及責任の自覚・現在日博協傘下の各館園の概要・事務局転居の経過報告将来の日博協の進路等に付いて語られ、啓示に富んだお話でした。

岐博協より参加の各館園の方々の御紹介を致します。

1. 岐阜県博物館協会理事長 吉田幸平氏
2. 内藤記念くすり資料館々長 青木允夫氏
3. 岐阜県陶磁器陳列館 古川庄作氏
4. 高山市郷土館 刈安軍治氏
5. 岐阜城郷土館 勝野千秋氏
6. 飛驒民俗村管理事務所 藤田三郎氏
7. 岐阜県博物館開設準備室 宮崎 惇氏
8. 日本自動車館 下田 優氏
9. 岐博協事務局 松本秀夫氏

以上受付順 (事務局松本生)

お 願 い

岐博協セミナーも回を重ねる毎に、各位のご支援に依り好評裡に展開しております。

そのセミナー記録第一集は、校正・編集も終了し、印刷を待つばかりとなりました。

この出版に寄せられた有志の方々の寄付金も約8万円となりましたが、最近の異常な諸物価の上昇に依り、未だ7~8万円程足りません。どうか、ご賛意の方々の一紙半銭の喜拾をお願い申し上げたく、なにとぞ支援の程お願い申し上げます。 =事務局=

＝ 図 書 紹 介 ＝

「自然史博物館の収集活動」日本博物館協会刊

日博協主催による研究集会の成果のなかから、自然史博物館における収集活動のハンドブックとして発刊されたもの。自然史博の基本姿勢からはじまり、収集システム、そして地学・植物・動物・自然遺物・標本の保存・収蔵庫の各論と、名岐にわたる豊富な内容が、具体的な実践をふまえて描かれてる必備図書。2000円。

〒103 東京中央区日本橋茅場町1-10-1
浦上天珠堂第一ビル。日博協事務局へ//

博物館職員講習に参加して

岐阜県教育委員会事務局
博物館開設準備室 野村 豊

去る6月31日より35日間にわたって行なわれました国立社会教育研修所主催の博物館職員講習に参加しましたので、講習についての概要を紹介し会員の皆さんに何らかの参考になればと思います。

この講習の受講資格は博物館法第2条の登録博物館または同法第29条の博物館相当施設に勤務する者で博物館施行規則第5条の学芸員試験認定受験資格を有するものとなっています。受講の申込みは県教育委員会（社会教育課）で、県教育委員会の推せん書をもとに国立社教研修所長が受講者を決定します。私の場合準備室は登録博物館でも相当施設でもないということで問題になりましたが、前向きの解釈で受講が許可されました。私以外にも資格が問題になった人が少なからずあったようですが幾分の拡大解釈がなされたようです。受講者は北は北海道、南は沖縄まで各地から参加されその数27名、自然系16名人文系11名です。昨年と同様募集定員100名に対し少数で大へん勿体なく思います。博物館関係職員の受講を優先させるとしても、それ以外からの受講も認めてよいように思います。現在自然系の学芸員の少ないこと、また大学の博物館に関する科目の講義が人文系に多く自然系の大学には少ないことから、今回の講習は自然系学芸員の養成を目的とし、講習内容も自然系が主となっています。しかし実際の受講者の半数近くが人文系であることは問題があるように思います。来年度の講習があるかどうか、また、今年自然系だから来年人文系の講習を行なうかどうかというようなことは決っていないようで、昨年・今年の実績をもとに来年度の企画が決まるようです。学芸員養成という有意義な講習を存続させるためにも、多数の受講者があることが望まれます。

講習は毎日朝9時半より午後4時まで昼休み1時間を除いて1日5時間半、午前午後各1回の少休憩、そして土曜日は半どん、日曜日は休みです。講習内容は博物館学4単位67時間、教育原理、社会教育概論、視聴覚教育、自然科学史、生物学、各1単位15時間ずつ計9単位142時間、講義が主でしたが、富士・箱根の現地での資料収集の実習（2日間）、能力開発センターでの教育原理の実習（1日）国立科学博物館での資料の保管分類についての講義と見学（2日）科博の展示に関する見学、視聴覚機器の取り扱い、OHP用TPの作成など実習もおりこまれていました。その間、社会教育概論・自然科学史の2科目のテスト、ノート提出が1、講習修了後2週間期限のレポート（約1200字）提出が11テーマありました。なおこの講習では既修得科目の有無に拘らず全科目の受講と各科目について5分の4以上の出席が必要とされています。以上を終わって成績が認定されても直ちに学芸員の資格は与えられません。それはこの講習が博物館施行規則第7条の試験認定に際しての試験科目の免除がなされる講習であるということで、試験認定の受験を申請し、その際全科目の試験が免除されることとなります。昨年度の受講生は全員試験認定を申請し学芸員の資格を得られたそうです。

この講習で博物館について考えてゆかねばならぬ事柄のアウトラインをつかむことができ、また社会教育機関としての重要さも改めて強く感じました。3～5人の講師による講義は短時間の講義の中に豊富な内容をわかりやすくよくまとめられたなと思いましたが広く浅くという感じのものもあり、狭く深くといった講義も必要であると思います。

会場の社会教育研修所は新築で上野公園の緑の樹々に囲まれ、受講した視聴覚教室は設備も完備し、非常によい環境でした。松戸寮に宿泊した受講生は13名で共に寝起きしつつ、情報を交換し、意見を述べあったことも大へん有意義な学習でした。

岐阜県下学芸員名簿

県下博物館界の発展のためにも、より多くの学芸員誕生が望まれます。学位を有して無試験検定を申請するか、文部省の試験検定を受けるか、あるいは、本号で紹介していただいたよう

に講習会に出るかなどの方法があります。

現在までに、県教委をととして資格認定をされた方の名簿を、県教委からいただきました。各館等におかれましては、これらの方々を充分にご活用されるといと思います。

| | | | | |
|-----------------------|--------|------------|------------|-------------------|
| 無 試 験 検 定 | 中野 効四郎 | 元岐阜大学教授 | 史 学 | 岐阜市長良東町 |
| | 日置 弥三郎 | 岐阜女子大学教授 | 史 学 | 一宮市公園通 5-10 |
| | 竹村 信広 | 県庁 職員 | 物理・自然科学 | 岐阜市打越 |
| | 吉田 幸平 | 濃飛甲冑研究所長 | 民族学・史学(甲冑) | 岐阜市岩戸花月町 2の1 |
| | 松本 平治 | 元岐阜大学教授 | 史 学 | 岐阜市長良東町 2-22 |
| | 野村 忠夫 | 岐阜大学教授 | 史 学 | 名古屋市千種区希望ヶ丘 4-1-2 |
| | 青木 允夫 | 内藤記念くすり資料館 | 薬学・医学 | 羽島郡川島町 |
| 試 験 検 定 | 宮崎 惇 | 県博物館準備室 | 生物学・地学 | 羽島郡笠松町米野 |
| | 柳瀬 司 | 名森小学校長 | 美術史・考古学 | 不破郡垂井町綾戸 |
| | 辻 醇 | | 生物学・地学 | 各務原市鶴沼 |
| | 小野木 三郎 | 稲羽中学校教諭 | 生態学・分布・地理学 | 各務原市那加雲雀町 34の2 |

全日本博物館学会創立!

「博物館学」自体、今日まだ独立の学問として、体系づけられるまでには到っていない。そこで、「博物館学」の確立を目差し、研究発表・研究促進・情報提供・連絡の機関としての「博物館学会」の設立が、久しく要望されてきました。今回、全国大学博物館学講座協議会の強力な推進もあって、全国的にわたる博物館人60名ほどの発起人をもって、「全国博物館学会」が創立され、創立総会が8月18日、国学院大学でもたれました。今までの、日本博物館協会と表裏一体となり、これからの「日本博物館学」の、一層の発展と、研究者の連絡・研究の利便をはかり、日本の博物館事業振興の強力な母体となることでしょう。

学会入会希望者は、下記へお問合せ下さい。

〒150 東京都渋谷区東四丁目十番 28号
03-409-0111
国学院大学 考古学第一研究室内
全日本博物館学会設立事務局

※「博物館学」に興味ある方は、どんどん入会されることを望みます。

第21回全国博物館大会に参加を!

大会テーマ「明日の文化を創造する博物館活動 ～ 人間性の回復をめざして～」のもとに、昭和48年11月12日～16日まで、兵庫県県民会館を中心会場にもたれます。

12日(日) 正午より開会・全体会・映画・レセプション。13日(火) 記念講演・現地研修会。

14日(水) 分科会・全体会議。15～16日は視察見学旅行という大要。参加希望者は、大至急日博協事務局へ詳細を問合わせること。

電話は、東京03-669-2221へ。

「歴史と博物館」創刊!

国立歴史民俗博物館(文化庁)にもとめる内容を、自から検討し、その作業過程を公表して、新しい構想の着実な実現を期待して、歴博研究会から「歴史と博物館」1号が創刊されました。全国からの声を結集すべく、会員としての参加を呼びかけています。連絡先は、〒113 東京都文京区弥生2-4-16 日本学会事務センター内 歴博研究会(電話815-1903)

池村氏の活躍TVで放映さる！

去る7月14日、朝7時20分から10分間、「小さな博物館」の題のもとに、本会会員池村兼武氏の活躍振りが放映され、自然を正しく知るこ



との大切さと、限りない自然と子どもへの愛に満ちた池村氏の情熱に、思わず目頭が熱くなる好番組でした。小さな博物館とはいえ、池村氏

の教育活動は計り知れない大きなものです。増々ご健勝で活躍のほどを！

ひだ自然館増々充実！

本誌19で紹介しましたひだ福地自然館では、より広い分野での教育を主体とした新しい理念の観光を確立しようと、樹木・昆虫展示室をはじめ、淡水動物園・高山植物園等を整備。

山腰悟氏自身、説明に立たれ、大自然のかけが



えのない宝物を、永く後世に残そうと奮闘中。電話が変更になりました。

奥飛驒温泉局(05789) 2462番(代)です。

＝ 事務局より ＝

※ 会費の納入を！！

振替用紙がとどいたと思います。未納の館・園・個人の方は、公立2500円、私立2000円、個人1000円(年額)を大至急納入下さい。

※ 吉田事務局長再度訪ソ中

吉田事務局長は、今夏訪ソ中で、ソビエットの博物館界のようすも、おいおい紹介していただけることと期待して帰国を待ちましょう。

※ 岐阜県博物館の資料収集に協力を！

「岐阜県博物館」は、起工式も無事終え、大日本土木を中心として、いよいよ建築造成工事にとりかかりました。未来を先取る郷土岐阜県の総合博物館として、岐阜県博物館界の中核、そしてまた情報センターとしても、りっぱに建築運営されることが望まれます。資料収集も、いよいよ本格的に進められつつあります。県下の

会員の方々からの強力な協力が望まれます。歴史・自然を問わず、岐阜県博物館の資料収集につきまして、準備室までご一報されますようお願いいたします。〒500 岐阜市藪田 岐阜県庁内教育委員会事務局 博物館準備室へ

TEL 0582-72-1111 内線2634-5

編集後記

◎新装なった韓国国立中央博物館を見てきました。新羅仏国寺の青雲・白雲両橋石階を正面に、屋上には、忠北法住寺の五重木塔など三棟の国宝建造物の模築をのせたもので、とても美しくお国柄がよく出ていました。豊富な展示品の前に、まずその外観にビックリ。日本の各地にふえる博物館も、その土地の建造物を模築してみては？

◎夏休み中の各館園、皆様方個人個人のご活躍振り、どんどん原稿を！！

(小野木学芸員)

1980
7.23